



◎事業所得（営業・農業）

収入	売上金額	①		円
	家事消費	②		
	その他の収入	③		
	計(①+②+③)	④		
売上原価	期首商品(製品)棚卸高	⑤		
	仕入金額	⑥		
	期末商品(製品)棚卸高	⑦		
	差引原価(⑤+⑥-⑦)	⑧		
差引金額(④-⑧)		⑨		
経費	水道・光熱費	ア		
	広告・宣伝費	イ		
	旅費・通信費	ウ		
	修繕費	エ		
	消耗品費	オ		
	火災保険料費	カ		
	減価償却費	キ		
	雇人費	ク		
	地代・家賃	ケ		
	借入金利子	コ		
租税公課	サ			
		シ		
経費計(ア～シの計)		⑩		
専従者控除		⑪		
(⑨ - ⑩ - ⑪)				(表面の事業所得①・②へ)

◎不動産所得

収入	物件所在地	借受人氏名・名称	種目	期間	金額
				月	円
	収入合計 ⑫				
必要経費	固定資産税	円	雇人(管理人)費	円	
	火災保険料		借入金利子		
	修繕費		減価償却費		
	経費計 ⑬				
専従者控除 ⑭					
(⑫ - ⑬ - ⑭)					(表面の不動産所得③へ)

◎減価償却費の内訳

償却資産	取得年月	償却の基礎になる金額	耐用年数	使用割合	経費となる償却費
	年 月	円	年	12月	円

◎事業専従者の内訳

氏名	続柄	生年月日	従事月数	専従者控除額
		明大昭平 年 月 日	月	円
		明大昭平 年 月 日	月	円
所得税における青色申告承認の有無				有・無

◎配当割額又は株式等譲渡所得割額の控除に関する事項

特定配当等に係る所得金額、特定株式等譲渡所得金額を総所得に含め、配当割額又は株式等譲渡所得割額の控除を受けようとする場合は、下欄に配当割額及び株式等譲渡所得割額を書き入れてください。

配当割額控除額	円	株式等譲渡所得割額控除額	円
---------	---	--------------	---

◎その他の雑所得に関する事項

雑所得の種類	所得の生ずる場所又は支払者の名称・氏名	収入金額	必要経費等	差引金額
		円	円	円
		円	円	円

◎総合譲渡・一時所得の所得金額に関する事項

区分	収入金額	必要経費	差引金額	特別控除額	所得金額	総合譲渡/一時 ※表面の⑧に記入する所得金額 ア+(イ+ウ)×1/2	
総合譲渡	短期	円	円	円	円		⑮
	長期	円	円	円	円		
一時	円	円	円	円	円		

◎分離課税の所得内訳

所得の種類 (該当所得に○印を)	短期譲渡所得		長期譲渡所得			株式等の譲渡所得等		上場株式等の配当	先物	山林	
	一般分	軽減分	一般	特定	軽減	未公開	上場				
種目	所得の生ずる場所		収入金額		必要経費		差引金額		特別控除額		所得金額
			円		円		円		円		円
			円		円		円		円		円

◎日雇の大工・左官などの方及び源泉徴収をしていない事業所や日給制の職場で働いている方の記入する欄

月	収入金額	月	収入金額	月	収入金額	月	収入金額	給与の支払者
1	円	4	円	7	円	10	円	
2		5		8		11		円
3		6		9		12		収入合計

◎雑損控除の求め方

損害の原因	損害年月日	損害を受けた資産の種類など	① 損害金額	② 保険金などで補てんされる金額	⑩ 表面の⑩へ記入する雑損控除額
			円	円	
控除額は、{ [ 差引金額 ①-② ] - [ 表面⑩所得合計の10%の金額 ] } と { [ 差引損失額(①-②)のうち災害関連支出の金額 ] - 5万円 } とのいずれか多い方の金額 →					

◎寄附金税額控除に関する事項

表面の支出した寄附金に応じて、それぞれの寄附先を記入してください。

寄附金の区分		寄附先
都道府県、市町村又は特別区分		
岡山県共同募金会又は日赤岡山県支部分		
条 例	岡山県指定分	
指定分	岡山市指定分	

◎扶養控除追加記入欄

氏名	生年月日	住 所
明大昭平	年 月 日	
明大昭平	年 月 日	
明大昭平	年 月 日	

◎通信欄(平成26年中に所得のなかった人など次の事項に該当する人は数字を○で囲み必要事項を記入してください。)

1 下記の人から扶養または援助を受けていた。	4 病気療養中(入院・通院)
住所	5 遺族年金・障害年金・雇用保険・恩給等で生活していた。
氏名 (続柄)	6 預貯金等で生活していた。
2 勤務先から給与支払報告書を提出済みです。	7 生活保護法による扶助を受けていた。 年 月～ 年 月
勤務先名 電話番号	8 その他
3 学生 (学校名)	